

夏休みが終わり2学期がスタートしました。8月下旬現在、新型コロナウイルスは福島県内でも増加の傾向にあります。2学期は、今のところ、1学期できなかった運動会を予定しています。生活発表会も予定しています。今後の情勢で2学期の行事が予定通りできなくなることもあるかと思いますが、できることを願います。

1学期末に、夏祭りを実施しました。

新型コロナウイルスが流行し始めた4月頃には、運動会や親子遠足は、「2学期は大丈夫だろう」と推測し、2学期に延期しました。季節に左右されないものは延期しましたが、「夏祭り」は7月中旬の行事であったため、その頃は「まだ不安」と推測し、季節の行事なので延期は無理と考え、中止と判断したのでした。

その後、月日は経ち6月頃だったと思います。志賀学園のいわきの幼稚園やこども園で、夏祭りを実施することが分かり、また、郡山市内の幼稚園でも多くの園が実施することが分かり、本園でも実施することにしました。ただし、密を避けるためさくら組だけと。例年ですと、PTAのご協力を頂いていたのですが、実施すると決めたときには、PTA役員がまだ決まっていない時期で、一人一役も決まっていない時期（4月のPTA総会を6月の書面開催にしたので）でしたので、職員だけで準備することになりました。夏祭りの実施日は、1学期最後の土曜日、7月18日。それでも、準備に1ヶ月はありません。昨年度までのやり方をいったん白紙に戻し、職員だけで、やれる範囲での立案、企画。いったん中止にしたことを実施するというのは、並々ならぬエネルギー、やる気が必要とされるのでした。当初は、何をどうしたらいいのかさっぱり見当がつかず右往左往の日がちょっぴりありましたが、そんなことを続けていられるほど余裕はなく、とにかく、動き出したのでした。動き出すことによって、準備を進めることによって、2020(年)の夏祭りが、次第に目に見えるようになってきたのでした。ゴールが見えてくると、さくら組のことだけでなく、すみれ組やばら組のことが見えてきたのでした。「やってやろう」「やってやりましょう」と。もちろん、子どもだけ。さくら組と同じではない。いくつかを、少しですが「夏祭りを体験」させることにしました。7月14日(火)が、すみれ組ともも組。翌日15日(水)がばら組。少しでしたが、園児たちは大喜び。やってよかったと思いました。いよいよ3日後は、さくら組の夏祭り。準備の最後には、ソーシャルディスタンスの足マークの表示をラミネートで作成するほどの余裕? 当日は、密を避けるため、組ごとに行ったため、各コーナーの待ち時間もほとんどなく、全体的にスムーズな流れ。天候が心配されましたが、盆踊りは園庭でちょうどよい人数で無事実施。この日は、園児たちのとびっきりの笑顔、保護者の皆様のととても嬉しそうな表情に、それぞれ「やってよかった」と、職員一同思いを同じくしたのでした。

そして、そして、夏祭りが終わっては、ジャガイモ掘り。終業式の日にはできないので、猶予期間は、20、21日の2日間。雨が降ったら……。幸い、雨が降ることはなく、もも組を除いてみんなでジャガイモ掘りをすることができました。時間差はありましたが、みんなで一つのことに取り組みるっていいなと思いました。

お泊り保育。これは、それこそ二転三転して園児にも保護者の皆様にも多大なる不安・ご心配をおかけすることになりましたが、その時その時の情勢を踏まえての判断でしたので、みんなで納得のいく結果になったのではと思っています。最初にアンケートをとらせていただき、その結果、リステル猪苗代でのお泊り保育に思いを馳せることができました。でも、次第に新型コロナウイルスの増加・拡大が始まり「これでは不安」という思いが生じてきたので、「中止」そして「代替え」となったのでした。とても行きたかったのですが、「このような情勢の中で行って、もしものことが起こったら」という不安は、「中止」と決断してからはなくなり、「代替のお楽しみ会を成功させよう」に変わりました。エコバック作り、スイカ割り、昼食(子どもたちの人気メニュー)、ブルーベリー狩りと、それはそれは楽しいひと時を過ごすことができました。これはこれでよかったと思いました。

冒頭に記しましたように新型コロナウイルスの今後はどうなるのか予測できませんが、一日一日、一步一步、一つ一つ……。